

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山ノ内町そばのブランド化推進事業
事業主体 (連絡先)	山ノ内町そば生産振興組合 組合長 畔上富生 事務局：小河原 康貴 TEL 0269-33-6139 FAX 0269-33-6007
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	7,851,230円 (うち支援金：4,606,000円)

事業内容

- ・そば収穫用コンバイン 1台 導入
- ・乾燥調製機器 1式 導入

平成25年度の「集落「再熟」、実施モデル地区支援事業」の取組みにより策定されたビジョンにも掲げられている「須賀川そばのブランド化」実現のために、根幹となる高品質な玄そばの生産にむけた体制の整備のもと、「雪室」を活用した高付加価値化と6次産業化の推進を図り、地域の活性化に貢献し、町のそば振興に発展に資する。



自己評価 (事業実施率) 【A】

【目標・ねらい】

- ① そばの等級検査率向上
- ② そばの栽培面積・収量の増加
- ③ そばの6次産業化推進
- ④ 乾燥調製による玄そば品質向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

高品質な玄そば栽培を目指した栽培管理技術向上や、機械等の導入による生産体制整備により、玄そばの高品質化推進と6次産業化推進によるブランド化を図るべく取り組んだ。この結果、平成24年度0%であった等級検査受験率は平成26年度において99.4%と、ほぼ全量が等級検査を受検するに至り、市場等からも高品質な玄そば生産が行われることとなった点に高い評価を得られた。

こうした玄そばの品質向上を生かして、更なる情報発信を行うべく、地元産そば粉を使用した新商品(法印焼き)を商品化している。

※自己評価 【B】

【理由】

玄そばの品質向上と6次産業化推進は事業効果があったが、天候不良と獣害により、収量の増加には至らなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

高品質な玄そば生産にむけた生産体制の構築ができたことから、地域の特色を生かした産業振興を図るべく、更なる6次産業化推進を行い新商品開発を進めつつ、「そば」をテーマにしたイベントの開催継続など、地域が一体となった「そば振興」にむけた取組みを展開していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある